

特別活動(高等学校)

学校行事はどう改善されたのか。

1 学校行事の目標

学校行事の目標については、学習指導要領第5章の第2の〔学校行事〕の1「目標」で、次のように示している。

学校行事を通して育てたい態度や能力を、新たに目標として示した。

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

よりよい人間関係を築く力、公共の精神を養うこと、社会性の育成を図ることを重視した。

学校行事は、全校若しくは学年又はそれらに準ずる比較的大きな集団を単位として、日常の学習や経験を総合的に発揮し、その発展を図る体験的な活動である。このような大きな集団における望ましい集団活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築き、社会的に自立しようとする自主的、実践的な態度を育成することが学校行事の目標である。

このような目標を実現する過程で、生徒は、自己理解を一層深め、規律、協同、責任、思いやりなどの社会性、集団や社会における自己の生かし方、集団における望ましい態度などを育てることになる。また、それと相乗的に集団としての活力と学校生活の張りともたらされ、学校生活そのものが楽しく豊かなものになることが期待される。さらには、学校行事は学校の文化やよりよい校風をつくるとともに、学校の特色となって、生徒の愛校心を高めることにつながる。

2 学校行事の改善

学校行事については、学習指導要領第5章の第2の〔学校行事〕の2「内容」で、次のように、その特質と5種類の行事を示している。

全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

- (1) 儀式的行事
- (2) 文化的行事
- (3) 健康安全・体育的行事
- (4) 旅行・集団宿泊的行事
- (5) 勤労生産・奉仕的行事

- 学校行事においては、学校行事を通して育てたい態度や能力を新たに目標として示した。特に、よりよい人間関係を築く力、公共の精神を養うこと、社会性の育成を図ることを重視した。
- 学校行事の内容については、生徒の発達の段階を踏まえ、社会生活における役割の自覚と自己の責任についての意識を高め、社会的自立を一層すすめる観点から、「勤労生産・奉仕的行事」について就業体験を重視するとともに、奉仕体験の意義を明確にした。
- 本物の文化や芸術に触れたり鑑賞したりする活動、文化の継承、創造に寄与する活動などを充実する観点から、「学芸的行事」を「文化的行事」に改めた。